

白老町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

No. 2

担当部署	象徴空間周辺整備推進課		周辺整備推進G						
事業名	「象徴空間」整備による活性化推進会議運営支援事業							加速化交付金	
平成28年度事業費	4,345,859					円	関連施策等		
事業概要・実績（内容）	官民が連携して白老町内における象徴空間整備の効果を最大限に高める。							101020103	
	①民族共生象徴空間記念講演会開催								
	②国・北海道への要望活動								
	③白老町活性化推進会議運営支援業務委託								
事業効果・成果	象徴空間整備の効果を高める取り組みを進めることができた。 ①記念講演会：町民等500人出席 ②要望活動：16人参加（白老町、町議会、活性化会議）								
事業の課題等	象徴空間整備の効果を高めるためには、さらなる官民の連携強化が必要となる。								
翌年度以降の事業の方向性	白老町活性化推進会議の構成団体が、象徴空間開設に向け、主導的に取り組みを進めていく。								
重要業績評価指標（KPI）		単位	目標値	当該年度達成率	2015（平27）	2016（平28）	2017（平29）	2018（平30）	2019（平31）
1									
2									
3									
4									
5									
加速化	多文化共生のまちづくりを進めることを知っている町民の割合（理解普及）	%	60	93.0%		55.8			
事業の評価	①重要業績評価指標（KPI）への有効性						A	9	B
	A. 直接効果あり B. 間接効果あり C. 効果なし								
	②町が実施する必要性						B		
	A. 必要 B. どちらともいえない C. 不要								
③事業実施の有効性、成果						B			
A. 効果あり B. どちらともいえない C. 効果無									
④事業の効率性						B			
A. 適切 B. 改善の余地あり C. 非効率									
有識者意見									評価
・象徴空間記念講演会、国・道への要望活動等については、一定の成果があった。今後も、官民の連携を強化して、更なる機運向上に期待する。 ・一部の人だけの会議に見える。町民理解に広がりが無い。									B